Ⅵ　全体構想図

学習指導要領
県・市教育行政方針
今日的課題

学校教育目標

豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童の育成

・思いやりのある子
・自ら学び考える子
・心も体もたくましい子

児童の実態
教師の願い
保護者の願い

【研修主題】

自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童の育成

－道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導の工夫を通して－

【研修のねらい】

道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導を工夫して行えば、自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童を育成することができることを、実践を通して明らかにする。

【めざす児童像】

◎道徳的諸価値についての理解を基に自分を見つめ、友だちと考えを交流し合う中で、自己の生き方についての考えを深め、これからの生き方をさらによいものにしていくための判断力や心情、実践意欲・態度を身に付けようと努力する児童

「道徳的諸価値について理解する」とは	「自己の生き方についての考えを深める」とは	これからの生き方をさらによいものにしていくための判断力や心情、実践意欲・態度」とは
道徳的価値のよさ（価値理解）、その実現の難しさ（人間理解）、自分と友だちとの道徳的価値に対する考え方の違い（他者理解）の３つを理解すること。	児童が道徳的諸価値に関わる事象を自分自身の問題として受け止め、自分のよさに気付いたり伸ばしたい自己を深く見つめたりすること。	道徳の時間のねらいとして設定される判断力や心情、実践意欲・態度のこと

【手だて】

道徳の時間において自分の生き方についての考えを深めさせる指導として以下の２点を工夫して実践することにより、自分のよさに気付きよりよく生きようとする児童を育成することができるであろう。

１　展開前段において、児童の実態と資料の特質をおさえた発問構成を工夫することで、ねらいとする道徳的価値について理解できるようにする。

２　展開後段において、特別活動や日常生活での体験を話題として提示し、道徳的価値についての理解を基に感じたこと考えたことを友だちと交流することで、自分の生き方についての考えを深められるようにする。

【教師による活動】
・学習環境整備
・「はばプラ」を活用した研修
・価値観、児童観、指導観を明確にもった授業計画
・別葉を生かした指導計画
・板書計画の充実
・書く習慣を身に付ける活動（100 マス作文・作文の日）
・話合いの指導の充実（学活・各教科）
・読書活動の推進（朝の読書）
・豊かな心を育む学級経営
・社会福祉活動の推進

【家庭・地域との連携】
・家庭への啓発と連携
・地域人材・素材の活用
・大島公民館をはじめとする市内の公共施設との連携
・長期休業中における「わたしたちの道徳」「ルールブック 50」を活用した各家庭での実践